



機械式駐車装置部品交換提案書作成 に向けたテンプレート

機械式駐車装置の安全稼働を担保する円滑な保全工事

機械式駐車装置部品交換提案書に明確にすべき必要な内容

- 1 駐車設備運用開始時と保全提案時の交換部品の状態の違いが明確に確認でき、**交換の必要性を客観的に理解が得られる**ようにして下さい。
 - 写真・イラストを採用し、直感的に理解が可能になることが大切
- 2 交換を怠ると発生する危険性が認識できるよう事故事例等を用いて説明して下さい。
 - 写真・イラストを採用し、**直感的に危機感を認識できる**ことが大切。
 - 部品の交換時期と危険性は、工業会の公表資料も利用してください。
- 3 交換までの交換期限(タイムリミット)を明確に記載して下さい
 - 交換期限超過(タイムリミット)部品を使用している**駐車設備の保守点検作業の取止め、駐車設備の運用停止の提案**もあることを伝えてください。
 - ・保守点検作業の取止め：安全管理義務遵守による保守員の安全確保の担保
 - ・駐車設備の運用停止：駐車設備利用者の安全性担保に向けた処置

機械式駐車装置部品交換提案書

1. 駐車装置使用開始日 2006年 4月 1日

2. 使用経過年数

交換対象品目	経過年数	交換履歴		交換周期
減速機付モータ	15年 5ヵ月	初回		10年~15年
ローラチェーン	7年 3ヵ月	二回目	2014年4月	7年~10年

注記：
・減速機付モータは初の交換であり、使用実績から随分と持っている
・ローラチェーンは二回目で前は8年で交換している

3. 現在の不具合状況

4. 放置した際の危険性

- ・機械装置である以上、経年使用劣化は始まり適切な時期に交換をしないと重大な事故を引き起こす結果になります。
- ・今回の交換対象になっている減速機付モータ及びローラチェーンをこのままの状態を使用を続けると、減速機が機能しなくなり速度制御に問題が発生し、ローラチェーンに負荷がかかり破断する可能性があります。
- ・ローラチェーンの破断により、パレットの落下と共に自動車の落下が発生し、状態によっては車路部へ飛び出し、前庭の利用者を直撃する恐れがあります。これらの可能性を排除し、快適・安全な利用に向けた交換をお願い致します。



5. 交換までの猶予期間 2022年 4月 1日

注記：猶予期間を過ぎた場合には、本装置の安全性は保守できなくなります。
また、装置そのものに危険性を有するため、**保守員の安全を確保するため保守点検作業を見合わせて頂くこともあります。**

使用開始からの経過年数・履歴・判定の基準などを記載

記載は事象ではなく不具合に至る原因、保全による部品交換は、不具合が発生している状態ではないことから、4項の放置した際の危険性との関連等を具体的に記載する。

事故事例などを写真や危険性をイラストなど紹介しながら危険性を記載する。指針の解説にある危険性と交換についての判定内容の掲載も参考に。内容は具体的に記載する。



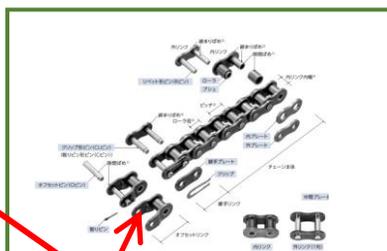
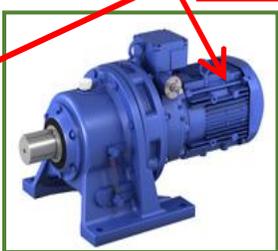
過去の事故事例の紹介

事故事例の写真・イラストなどを添付

重要部品においては工業会が公表した「重要部品の交換周期」を参考にして、それを超えないようにする。越える場合には、越える原因（理由）について具体的に説明が必要。

納入時の状態

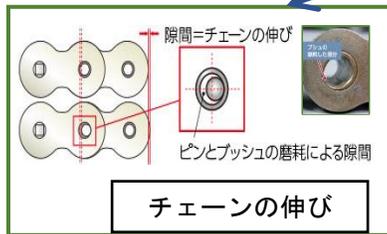
①減速機付モータ ①..... ②ローラチェーン



納入時の状態が明確に理解できるように、写真・イラストを掲載する。（同型機のもので可）
新旧問題点の比較が容易に出来るよう、写真・イラストに註釈を加える。

今回交換する部品の状態

①減速機付モータ ②ローラチェーン



写真・イラストなどを添付して、交換の必要な内容が具体的に、資格で理解できるように考慮した資料を掲載する

不具合による部品交換は事象ではなく交換に至る原因、保全による部品交換の不具合が発生している状態ではないことから、4項の放置した際の危険性との関連等を具体的に記載するで説明をする。

①
 ②

 ③

詳細は書面での連絡が望ましい

交換作業決定時においては次の対応をお願い致します。

・ 交換作業の期間（対応期間） 年 月 日 時より 月 日 時迄を予定

・ お願い

交換作業中のお車の移動（当該駐車装置番号の 番から 番迄使用不可）
作業の内容や注意点は、書面にて「作業開始1週間程度前」に該当するご利用者様に書面等でご連絡いたします。